



第45回全国統一研修会 熊本大会より

低気圧・高気圧

第45回全国統一研修会熊本大会が、令和3年11月18日に無事終了致しました。大会実行委員の皆様、特に地元熊本地区会の皆様には大変なご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

前回九州での開催となった第34回全国統一研修会九州大会IN鹿児島において、私は、第三分科会を主催した情報ネットワーク委員会の一員として参加していました。そこでは、発売間もないiCompassコミュニケーションを実演させていただきましたが、この事がきっかけとなり、それまでアナログ人間だった私の事務所のデジタル化が始まりました。まず取り組んだのは、保存する書類の電子化で、これを実現するための道具として(旧)富士ゼロックスの文書ファイルシステムのドキュワークスを購入し、これを使いやすくするために複合機も富士ゼロックスに変えました。粘り強く使い続けた結果、事務所のペーパーレス化が進み、過去の書類がパンパンに入っていたロッカーを殆ど破棄することができました。

次に、パソコンのモニターを一人二台に増設し、電子化したデータとミロクのシステムの入力画面を同時に表示して作業ができるようになり、職員の作業効率が良くなった結果、残業時間が全体で2割も削減することができました。もちろん当初は、職員の不満はかなりのものがありましたが、今ではどれも当事務所には不可欠なスキルとなっています。

今後、人手不足も深刻になる中、ますますデジタル化を進めていかなければならないと思っています。

(長崎地区会 雪澤 知之)

表紙は熊本大会でご講演いただきました講師の方々です。

右上：満屋 裕明氏

左下：夏野 剛氏

右下：湯田 榮弘氏

熊本大会概要は4頁に掲載しています。

contents

ご挨拶.....	2
全国統一研修会熊本大会の報告...	4
会員のひろば.....	5
システム委員会だより.....	6
偏西風・お知らせ・編集後記	11



謹賀新年



九州ミロク会計人会 会長
大久保 昌逸

新年明けましておめでとうございます。

九州ミロク会計人会の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年の干支は「壬寅（みずのえとら）」です。寅とは、春が来て草木が生ずる状態を表しているのだそうです。昨年は新型コロナウイルス感染の第5波が10月に入ってひと段落し、その後は小康状態といったところですが、11月中旬を過ぎて漸く少しずつではありますが、人の気持ちもまるで雪が溶けるように徐々に和らいできたようです。願わくは変異型のウィルスがまた猛威を奮わないような、今年の干支のように今まで押さえられてきた新芽を大きく伸ばせるような年になってほしいものです。

また昨年11月18日には私共にとりましてこの二年間で最大の懸案であった第45回全国統一研修会熊本大会がWeb配信によって開催されました。会場のホテル日航熊本にはミロク会計人会連合会から金子会長以下副会長の皆様方、または枝社長はじめMJSの大会関係者の皆様方、ご来賓各位、そして宮本実行委員長をはじめ九州ミロク会計人会の大会実行委員の皆さん、合わせて70余名がソーシャルディスタンスを保った上で、例年の統一研修会と何等変わらぬ大会運営を実現していただき、Web参加の延べ1,000名を超える会員の方々に研修会と式典の模様を配信することができました。この場をお借りして、この全国統一研修会に関係していただいた全ての皆様に心より御礼を申し上げます。

ところで、税務においては関与先への調査が再開され、インボイス制度の研修会などもWebではなく集合での研修が始まっております。こうして世間は、はっきりとは気付かないうちに徐々に、いわゆるアフターコロナに移って行くのだと思います。

我々はこれからこの過ぎた二年間で意識しないままに空けてしまった穴の存在をつぶさに点検し大事にいたらないようにしていかなければならないと思います。そのために事務所の外においてはミロク会計人会の仲間同士のコミュニケーションを図り、所内においてはスタッフ全体の意思の疎通に努めることが大切であると感じています。

いろいろな意味で、クラウド、RPAなどがキーワードになりそうですね。電子帳簿保存法で国が強力に推し進めようとしているDX化にもここはひとつ乗ってみるのも良いかもしれません。

最後になりましたが、この新しい年が会員の皆様にとりましてすばらしい一年となりますようご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

九州が「ひとつ」 になって

実行委員長 宮本 律夫



新年明けましておめでとうございます。

さて、2016年4月、熊本は二度の大きな地震に見舞われました。倒壊した建物、寸断された道路そしてボロボロとなった熊本城…もう熊本はおしまいだと心が折れかけました。

しかしそんな中であって、一歩ずつ前へ向かって歩き始める人々の姿がありました。

そして私たち、九州ミロク会計人会熊本地区会も理事全員の総意で地震からの復興をテーマとして、全国統一研修会の誘致へと動き出しました。

九州会においても実行委員会が設立され、九州が「ひとつ」となって何回も会議を重ね、いろんなアイデアを出し合って、計画を立てて行きました。

その研修会、本来なら2020年11月5日に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、中止するのか・延期するのかの判断をしなければならないこととなり、次年度の東北会、次々年度開催予定の近畿会の皆様にも多大な迷惑をお掛けしながら、1年間の延期をお願いいたしました。

この1年間、コロナの様子を見つつ、何回も計画を練り直ししながら、講師の先生方にも日程の調整をお願いして、ギリギリまで参加型の研修会の開催を検討して参りました。

しかし、7月、8月になってもコロナの感染者は減少しませんでした。その結果、2021年11月18日にウィズコロナ時代の新たな研修会の形として、式典・基調講演・大会記念研修会・大会記念分科会・閉会式典セレモニーを、ホテル日航熊本より全国にライブ配信をさせていただくことが出来ました。

閉会式典セレモニーには、蒲島郁夫熊本県知事とくまモンにも参加して頂き、熊本を全国にアピールできたのではないかと考えています。

残念ながら、計画していた熊本城への移動分科会、物産展、記念旅行、ゴルフ大会等を中止せざるを得ませんでした。

当初の計画とはずいぶん違う内容となりましたが、全国から多数のWeb参加を頂き、すべてのプログラムを無事終了することができました。

これもひとえに、九州会の久保会長をはじめ、九州地区・熊本地区の実行委員会の皆さん、そして私たちを裏から強力に支えて頂いた、株式会社ミロク情報サービスの皆様方のご協力のおかげだと心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

新年のご挨拶

MJS 執行役員
九州沖縄圏統括部長

鈴木 和人



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり、社員一同心より御礼申し上げます。

昨年は、1年延期になりました第45回全国統一研修会熊本大会が開催され、多くの方にWebでご参加いただき盛会裏に終わりました。

大会終了後に足掛け3年の準備をされました大会実行委員会の先生方から、「全国から熊本に来て頂きたかった」とのお声を聞き、真摯に取り組まれた大会についての思いを強く感じました。

令和4年は、岩手県盛岡市で第46回全国統一研修会が開催されます。私はお隣の宮城県出身で

すが、東北も九州と同じように各県に特色があります。是非、10月13日に盛岡まで足を運んでいただき、岩手の風景や伝統文化に触れると共に食文化の方も楽しんでいただきたいと思います。

今後も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、Webでの会議や研修会が続くと思われます。ミロク情報サービスとしましては、今年も更なるサービス向上に努めて参りますので、より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



第45回全国統一研修会 熊本大会

蘇る熊本！ 復興からの新たな発展

令和3年11月18日（木）に第45回全国統一研修会熊本大会が熊本市のホテル日航熊本よりライブ配信（Zoom）にて開催されました。2016年の震災からの復興、「蘇る熊本！ 復興からの新たな発展」をテーマとしての開催です。

今回は九州会が担当の全国大会で、本来ならば昨年開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため1年延期されていました。

令和3年はワクチン接種も始まったため、全国から熊本に来ていただき、移動分科会として企画した熊本城見学をはじめとし、熊本の復興の状況を見ていただけるものと期待をしておりましたが、残念ながら令和3年8月時点でコロナウイルス感染症はおさまっておらず、直前にオンライン開催へ変更となりました。

もっともライブ配信によるオンライン開催は、全国統一研修会では初の試みとなり、ウィズコロナの時代に他会に先駆けて九州会が行う形となりました。

当日の式典・基調講演・記念研修会・記念分科会・閉会セレモニーが、熊本から全国へライブ配信されました。全国から実績で777名の参加・視聴申込があったとの事です。

式典では、宮本律夫大会実行委員長の開会挨拶により、1年の延期を経ていよいよ熊本大会が始まるのだという実感がわきました。



午後1時15分から基調講演が行われました。

【基調講演】

「エイズ治療薬開発から

新型コロナウイルス感染症治療薬開発へ」

満屋 裕明氏

国立国際医療研究センター研究所 所長・理事
熊本大学病院総合臨床研究部 特別招聘教授

満屋裕明氏による基調講演では、HIV/AIDS 治療薬開発、NHK への出演、フォーカス掲載等についての事や、三船敏郎「用心棒」を引き合いに出して、科学者は「用心棒」であれ！といった話、さらに、COVID-19 の治療薬研究開発、中和活性と副反応について等、現在のコロナ禍において非常に興味深い話をいただきました。

次に大会記念講演・大会記念分科会が、同時刻（午後3時50分から）に開催されました。

【大会記念講演】

「IT・AI 時代に求められる企業競争力」

夏野 剛氏

慶應義塾大学 政策・メディア研究科、特別招聘教授

【大会記念分科会】

「今、清正公に学ぶこと」

湯田 榮弘氏

加藤神社名誉宮司

私が参加（司会も担当）させていただいた夏野剛



氏による大会記念講演「IT・AI時代に求められる企業競争力」では、まずは、デジタル革命に乗り遅れた日本について、1996年以降停滞する日本経済の要因として①人口も増えず、生産性もあがらず、②規制がイノベーションを抑制（uber、Airbnb）、③改革を忌避する既得権益団体といった3つの要因をあげられていました。

中盤には、今こそマネジメント革命とのテーマで①ロクでもない Before COVID19 に戻るな（テクノロジーを全面導入、人のシステム刷新、時間管理からアウトプット管理へ）②経営者を変えよう、③ワークスタイルを変えようといった3つの事柄を挙げ



られました。

終盤、21世紀3つのIT革命が進行中であるとして第1の革命「効率革命」、第2の革命「検索革命」（にわか専門家量産システム等）、第3の革命「ソーシャル革命」（個人の情報発信能力の飛躍的拡大、twitterやFBによる「共振」）の3つを挙げられました。

自己の税理士業務と照らし合わせながら、色々と考えさせられる事柄が多く大変勉強になりました。閉会セレモニーでは、大久保昌逸九州ミロク会計人會会長の挨拶からはじまり、来賓挨拶、特に熊本県知事とともにくまモンが登場した場面では大変盛り上がりしました。次期盛岡大会へのお誘いのため東北ミロク会計人會の方々によるPRもなされ、最後に片山和博九州ミロク会計人會副会長の閉会の言葉・宣言で幕を閉じました。

今回の熊本大会は、1年の延期もあり、また、直前にライブ配信によるオンライン開催に変更となる等、熊本地区会の大会実行委員をはじめとする先生方、バックアップしていただいた株式会社ミロク情報サービスの皆様、準備にあたり大変ご苦労された事と思います。有難うございました。

来年は、盛岡大会です。出来るならば、新型コロナウイルス感染症が終息し、現地にて多くの盛り上がりがある事を願うばかりです。

（福岡地区会 古賀 照章）

会員のひろば

佐賀地区会

研修「借地権 相続・贈与と譲渡の税務」

しくみを知れば、トラブルは防げる

令和3年12月8日（水）佐賀駅前の「グランデはがくれ」において、MJS 税務システム研究所客員研究員で税理士の武田秀和氏を講師にお招きし、「借地権 相続・贈与と譲渡の税務」というテーマで3時間の研修会を、「密閉・密集・密接」を避けて開催しました。

講義では、他人の土地を賃借して建物や構築物を所有している場合、借地権の有無により課税が異なること、また借地権の設定時や借地権の異動、消滅時にも複雑な課税関係が生じることなど、税務申告する場合の注意点を理解しやすく事例をまじえ説明されました。また、課税当局側の見解も解説され理解が一層深まりました。

相続税申告時、相続財産である借地権を見落と



し、財産計上しなかったために、善管注意義務違反となった賠償責任事例もあるとのこととで申告の時は十分に注意をしたいと思います。

講義の最後に「しくみを知れば トラブルは防げる」と締めくくられた言葉が印象に残りました。

（佐賀地区会 古賀 昭彦）

令和3年12月6日、九州会システム開発委員会とMJS 本社開発担当者との間で、恒例になっていますシステム改善要望検討会を開催しました。今回も事前に会員の皆様に改善要望アンケートを取らせていただき、その内容を検討するというものでした。会員の皆様、たくさんの改善要望を頂き、ありがとうございました。

本誌には掲載しておりませんが、MJS 開発から対応不可、参考の回答になっていました内容も実務的に使用頻度が高いと思われる内容は、再検討を依頼しています。

例えば、5期比較のB/S、P/Lのご要望がありましたが、回答は対応不可でした。しかしながら、コロナの影響で、直近2期は業績が低迷し3期比較では比較対象として不十分と思われます。現状は令和3年度で3期比較を出力し、令和元年データで3期比較を出力して5期比較をするか、または分析の5期比較を利用する事になりますが、便宜性を考えて再検討して

もらうようにいたしました。

今回も紙面の都合で「会計大将」「所得税確定申告」の回答を掲載させていただき、次号（6月号）に他のシステムを掲載します。

会報の紙面の関係上、改善の「対応済み」「対応予定」「運用で対応可能」を中心に会報掲載しております。そこで、今回も全ての改善要望につきまして、質問内容および回答について今春を目途に九州ミロク会計人会のホームページ『会員の部屋』にアップする予定です。

全体は、ミロク会計人会連合会のホームページに、年2回機能追加一覧をアップしています。こちらも是非ご確認ください。

九州ミロク会計人会

<http://www.kyushukai.ne.jp/cgi-bin/1/index.php>

ミロク会計人会連合会

<http://www.mirokukai.ne.jp/>

Q&A の記載方法

NX…ACELINK NX-Pro

○…対応している

■…運用で対応可能

○…対応する予定

△…調査・検討

会計大将

Q-1 (NX ■)

会計大将でデータインストールを行う場合、時間がかかりかかるので改善してほしい。

A データ関係処理のデータインストールであればファイルサイズと圧縮の有無により処理時間が変わります。ファイルサイズが大きい圧縮されたデータの場合は解凍に時間が掛かります。非圧縮でのバックアップを検討ください。

Q-2 (NX ■)

仕訳入力時の消費税率を（F2）消費税率変更で戻らず直接各%で入力できるようにしてほしい。

A 消費税入力時に消費税率をウィンドウから選択す

ることができます。変更の方法についてはFAQ 番号：8099 をご参照ください。

Q-3 (NX ○)

摘要の文言が古いため見直してほしい。

（国金、相互銀行等）

「労働保険、振替、振込」摘要追加希望

会計データ作成時、「コードマスターに登録されている固定摘要を使用しますか？」等のメッセージを出して、固定摘要が未登録な状態でデータを作成できるようにしてほしい。

A [導入・登録][マスター登録][固定摘要ユーティリティ] にて未使用摘要を一括して削除する処理がございますので、そちらをご利用くださいますようお願いいたします。なお、「相互銀行」の固定摘要に関しては、ご指摘のとおり相互銀行法が廃止となっているため、仕訳の摘要として利用されることはないと思います。その

ほかの摘要についても今後、標準コードマスターの改変があったときに見直しを行います。

Q-4 (NX ■)

「財務報告書」「比較財務報告書」等、出力パターンを顧問先ごとに作成しないといけないところはどうにかありませんか？システム全体で設定ができ、担当者ごとに選べる、もしくは利用している PC ごとに設定を固定するような仕組みだと助かります。印刷パターンも、アプリケーションごと、PC ごと各自で作成しないといけないため、全体の設定ができ、PC ごとに設定が固定できる様にしてほしい。

A 現状においては、連続印刷での運用をご検討ください。

Q-5 (NX ○)

入力した仕訳から範囲を選択して定型仕訳への登録ができるようにしてほしい。

A 入力した仕訳から定型仕訳に登録する機能について対応いたします。

Q-6 (NX ◎)

会計科目と電子申告用決算書の科目の紐づけを自動化してほしい。

新規追加を行うと、コピー元の科目と同じ設定で紐づけされますが、申告用科目と同じ名称の場合は該当する科目に紐づけてほしい。

A 既に登録済みの科目については、『電子決算報告書関連情報』で [Shift] キー + [F1 自動設定] の機能を利用すると、会計科目の名称から、申告用科目に一致する名前を検索し、一致した科目に関連付けを行うことが可能です。

新規追加する科目については、Ver.1.86.0000 のバージョンから『勘定科目』登録の一覧画面で登録する場合は《新規登録》ダイアログで既存の科目をコピーして追加する方法に変更となっており、コピー元が『電子決算報告書関連情報』の設定がされている科目であれば、自動で同じ設定で紐付けが行われるようになっておりますのでお試しください。

Q-7 (NX ■)

仕訳帳・元帳印刷で簡易課税の業種区分を表示できるようにしてほしい。

A 元帳については、『導入・登録』 - 『基本情報』 - 『印刷情報登録』 - [出力情報] タブの業種出力区分で「出力する」のチェックをつけることで摘要に業種を表示することが可能となっております。そちらでの運用をご検討

ください。

Q-8 (NX ■)

消費税コード 10 や 30 が売上・仕入共通の番号となっており判別しづらい。ミスの原因となるため番号を変えるか、それが難しければせめて仕訳帳・元帳などで売上・仕入の区分を確認できるようにするなど対応してほしい。

A 仕訳帳、元帳の画面設定から「売上／仕入区分」を表示することができますのでご利用ください。
※設定方法はヘルプの項目「仕訳表示エリアの画面設定」をご覧ください。

Q-9 (NX ◎)

三期比較推移損益計算書の条件に指定科目の月別の前期、前々期実績を表記できる機能を追加してほしい。(見込を検討する際の資料として活用できる。)

A 2021 年 7 月リリースにて前期データを出力する対応を行いました。

①印刷情報登録の「三期比較推移損益計算書 前期データ出力科目登録」に前期実績を表記したい科目を登録する

②三期比較推移損益計算書の出力条件設定にて「前期データを出力する」にチェックする

Q-10 (NX ■)

建設業会計における配賦基準の期間を指定できるようにしてほしい。(91 月における減価償却費計上に必須のため)

A 次の方法で 91 月の配賦設定が可能です。

①配賦基準値の月別管理「月別」にて、「決算月」欄に工事別の配賦率を入力し、配賦基準値を作成。

②配賦パターンはなるべく小さい数字を設定(配賦元情報が同一の場合に小さい方を優先するため)に、配賦基準値で上記①の基準科目コードを入力して工事配賦を作成。

Q-11 (NX ■)

科目別補助名を摘要欄にコピーする時に、最後のスラッシュを入れるか入れないか選択できるようにしてほしい。

A 摘要欄にある「F8 固定摘要解除」では特殊摘要も通常の文字列に変換することができます。文字列に変換していただいた上で「/」を削除する運用をお願いいたします。

Q-12 (NX ■)

定型仕訳の登録画面で、登録順番を変更したい。

A 並び順は定型仕訳 NO の順になっております。定型

仕訳 NO の付番を目的別に割り当てる運用をご検討ください。

Q-13 (NX ■)

元帳インデックス

種類・印刷方向等を毎回設定しているの、設定を登録できるようにしてほしい。

A 出力パターンに登録が可能となっております。
FAQ: 5366 をご参照ください。

Q-14 (NX ■)

元帳インデックス作成

今期発生取引がなくても、財務諸表にある全ての科目を印字できるようにしてほしい。

A 出力条件設定で「元帳条件を指定する」にチェックをつけて「元帳条件設定」で「発生取引のみ出力」のチェックを外していただくことで期間中に発生した取引以外の科目まで出力されます。

Q-15 (NX ■)

元帳インデックス作成>取込で取込内容を選択できるようにしてほしい。または、使っている科目のみ取込できるようにしてほしい。

A インデックス作成では、仕訳の発生がない状態で作成するお客様のことも想定しているため、取込時にはそのデータの科目情報をすべて取込んでおります。印刷時の条件（元帳条件を指定する）で、「発生取引のみ出力」で使用科目を出力できるようになっております。印刷時に条件を指定しての運用をお願いします。

Q-16 (NX ■)

仕訳入力等作業中にバランスチェック用の画面を見れるようにしてほしい。

A 仕訳入力の「2画面起動」で仕訳入力をもう一つ起動していただき、そちらからバランス表示する運用をご検討ください。

Q-17 (NX ○)

仕訳入力について

①定型仕訳登録

財務大將>日常処理>伝票入力>振替伝票ミロク型>表示・修正での登録は可能かと思います。

例えば、仕訳入力>仕訳帳 - 入力順等検索 No (10 ~ 15)、日付検索等の指定分を 1 つの定型仕訳として登録できるようになると便利。②決算後、更新前に翌〇月で入力する際に前月に入力した仕訳をコピーできないか。

A ①仕訳入力において、既存の仕訳から定型仕訳を作成する機能に対応いたします。

②仕訳のコピー機能に対応いたします。

Q-18 (NX ○)

勘定科目の登録が簡単にできるようにしてほしい。

A ご要望されているイメージが内容から厳密に理解することが難しかったですが、科目と電子申告用決算書の科目の紐づけや、科目出力順序や科目別消費税の登録が自動で行われることが「簡単」な登録であると仮定して回答致します。

それにつきましては、Ver.1.86.0000 から対応した『勘定科目』登録の一覧画面での[F1 新規登録]機能で科目を追加することで可能となっております。こちらの機能はコピー元に既存の科目を指定するようになっており、追加する科目にはコピー元と同じ設定が自動で反映されるようになっておりますので、お試しください。

Q-19 (NX ■)

本支店会計で子会社のデータを運用する時など、会計データ内で摘要の同期やコピー（上書き）ができるようにしてほしい。

ユーティリティから体系のコピー、仕訳データと残高のコピーでデータを複製した後、入力していく過程で増やした摘要を別子会社にも反映したい。摘要登録を CSV で出力し、取り込む機能がほしい。

A 下記の 2 つのどちらかの方法で運用回避が可能とされますのでご検討ください。

・「データ交換」オプションをご導入していただきますと、摘要を増やしたデータでエクスポートして、反映したいデータにインポートできます。

・その他メニューにある『コードマスター情報移送』を利用して、摘要を増やした会社データからコードマスターを作成し、そのコードマスターから摘要情報のみを反映したいデータに移送する（詳しい操作方法についてはマニュアルをご参照ください）。

Q-20 (NX ■)

摘要を大きく見たい。OCR 読み込み等の文字が小さく見にくい。

A 摘要など特定の項目だけ大きくすることはできません。画面の拡大率を上げて全体を大きくすることで運用回避が可能かご検討ください。

Q-21 (NX ■)

決算書、電子申告出力の時、反映されていない科目・金額がある場合、「エラー」を提示するようにしてほしい。
(例) 固定負債計⇒ A+B

長期借入金 A

預け敷金 B⇒この部分が印字されていない。エラーも表示されない。決算書の内容を確認する作業が必要です。チェック処理は、登録時ではなく、出力時に行ってほしい。決算書の出力チェックは出力情報設定を行う必要があるが、初期値が「チェックする」になっているほうが良い。(チェック機能は全体的に初期値 ON になっていることが好ましい)

A 電子決算書報告書関連情報の会計科目確認で会計科目に紐づいていない科目をチェックすることができますので、こちらでの運用をご検討ください。

Q-22 (NX ◎)

決算書の電子申告データで表示されない勘定科目がある。科目を作成した時で電子申告にも反映されるようにしてほしい。

A Ver.1.86.0000 から対応した『勘定科目』登録の一覧画面での [F1 新規登録] 機能で科目を追加することで可能となっております。こちらの機能はコピー元に既存の科目を指定するようになっており、追加する科目にはコピー元と同じ設定が自動で反映されるようになっておりますので、お試しください。

Q-23 (NX ◎)

ネットバンキングと連動し摘要と科目を学習してほしい。

A 取引明細連携では仕訳辞書の学習機能は対応済みとなります。

Q-24 (NX ◎)

科目残高、補助コードと決算内訳書を連動してほしい。

A 【科目残高連動について】

決算内訳書システム側の『財務連動』にて、[連動方法] で「科目残高」指定することで、会計大将システム側から科目残高を連動することができます。

【補助コード連動について】

決算内訳書システム側の『財務連動』にて、[連動方法] で「補助別残高」指定することで、会計大将システム側から補助別残高を連動することができます。その際、決算内訳書の相手先辞書に連動元の補助名称が自動追加されます。ただし、補助コードは内訳書側での自動付番となります。(辞書の自動追加後、辞書コード変更も可能です)

Q-25 (NX ■)

決算書の項目が、電子に反映されていない場合はアラートがほしい。

A 電子決算書報告書関連情報の会計科目確認で会計科目に紐づいていない科目をチェックすることができますので、こちらでの運用をご検討ください。

Q-26 (NX ■)

預貯金のマイナス表示については、赤字表示等にしてほしい。

A フリーレイアウト帳票を導入していただくとマイナス金額を赤字にすることが可能となっております。

Q-27 (NX ■)

バランスエラーの該当日付を表示してほしい。

A 仕訳入力 of バランス表示ダイアログではバランスエラーとなっている日の仕訳を表示する機能がありますので、こちらをご利用ください。

Q-28 (NX ■)

一括印刷で決算月 1 での印刷ができるようにしてほしい。

A ユーティリティの一括印刷、経営分析の一括印刷のどちらも決算月 1 で印刷が可能ですのでご確認ください。

Q-29 (NX ■)

決算書：医療法人を選択したら、株主変動計算書を出さないようにしてほしい。

決算書申告書：医療法人を選択したら、株主変動のチェックが自動で外れるようにしてほしい。

申告書：医療法人を選択したら、非同族会社になるようにしてほしい。

A お手数をおかけいたしますが、決算書では株主本等変動計算書出力のチェックを外して出力してください。一度チェックを外して印刷やプレビューを行うとチェックを外した状態がデフォルトとなりますので、こちらでの運用をご検討ください。法人税申告書の医療法人の場合の非同族会社判定については、公益法人であれば同族判定は行わない仕様となっております。

Q-30 (NX ○)

入力済みの仕訳から定型仕訳登録ができるようにしてほしい。

A 仕訳入力において、既存の仕訳から定型仕訳を作成する機能に対応いたします。

Q-31 (NX ■)

振替伝票入力

連絡の付箋？を貼付できるようにしてほしい。

A 明細単位ではできませんが伝票単位で連絡用付箋を付けることができます。こちらで運用可能かお試しください。

※伝票単位の付箋は付箋検索にて一覧表示することができます。

Q-32 (NX ■)

固定摘要登録の入力の際に、修正できるようにしてほしい。

A ご要望の内容は「仕訳入力 of 摘要欄で固定摘要を入力する際、既存の固定摘要を修正したい」と解釈しました。

摘要欄には「F2 固定摘要登録」がありますので、こちらから固定摘要を修正することができます。

Q-33 (NX ■)

仕訳帳印刷形式を自由に選択できるようにしてほしい。(科目補助を出す、汎用補助を出す、入力者は出さない等)

A オプションのフリーレイアウト帳票を導入していただくと仕訳日記帳のレイアウト変更が可能となっております。

Q-34 (NX ■)

消費税精算表＞部門を、部門ごとではなく全部門連続印刷できるようにしてほしい。

A 部門ごとに印刷していただく運用をお願いいたします。現時点では開発の参考とさせていただきます。なお、目的と異なるかもしれませんが、帳票区分で部門別消費税精算表を選択すると部門ごとの消費税精算表が印刷可能となっております。

Q-35 (NX ○)

紙通帳をスキャンングで、CSV データに変更できる仕組みがほしい。

A AI-OCR 機能で通帳のスキャンに対応致します。AI-OCR 機能のリリースは 12 月を予定しています。

Q-36 (NX ■)

摘要登録や顧問先情報を登録する際、連想名称入力を半角カナに自動で設定されるようにしてほしい。全角や平仮名入力になってしまうと検索できないので。前は初期設定で半角になっていました。

A 摘要登録や顧問先情報の連想は常に日本語入力 (IME ON) の半角になるはずなので、お使いの PC の設定が影

響している可能性があります。PC の設定が以下のようにになっているか確認を行い、同じ設定になっていない場合は設定してください。

〔設定〕 コントロール・パネルの「時計、言語、および地域」にある「入力方法の変更」から「詳細設定」をクリックし、表示される詳細設定の中段付近にある入力方式の切り替え」にある「アプリ ウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」チェックボックスのチェックがオンになっている。(Windows8 以降の OS では、IME の状態がすべてのアプリケーションで共有されます。)

Q-37 (NX ■)

会計大將の仕訳表示について、選択された仕訳は消費税の入力情報 (消費税コード、仕入 / 売上区分、消費税率) を確認できるが、一覧に表示されている仕訳は消費税コードしか表示されないの、表示される消費税情報を増やしてほしい。

A 仕訳入力の画面設定から「消費税コード」「売上 / 仕入区分」「消費税率」を表示することができますのでご利用ください。

※設定方法はヘルプの「仕訳表示エリアの画面設定」をご覧ください。

Q-38 (NX △)

付箋機能について、入力できる文字数をもっと増やしてほしい。

A 付箋で入力できる文字数を増やすよう検討いたします。

所得税確定申告

Q-39 (NX △)

所得税確定申告書第 3 表の分離課税の長期短期等の事項に関する部分も連動するようにしてほしい。

A システムの利便性の向上に繋がるものと認識いたしますので、対応方法・対応時期等を含めて検討いたします。

Q-40 (NX △)

所得税の申告書でも法人税の適用額明細のように措置法の条文が表示されるようにしてほしい。

A 申告書第二表の「特例適用条文等」に記載する条文等は他にも多数あることや、用紙上の「特例適用条文等」の限られたスペースに印刷しなければならないといった制約もあるため、対応方法・対応時期等を含めて検討いたします。

2020年11月12日(木)午前7時40分。
『ボキッ』左足元から枯れ枝が折れたような音が聞こえてきた。その瞬間に左足からストンと崩れ落ちてしまった。足元を見ると、左足首くるぶしが外側へ1センチほど飛び出ているではないか。脱臼かな？

自力で押し込めば入るだろうと思って、手のひらで押し込んだら、元へ戻った。が、立ち上がれない。同じ動作を2～3回繰り返すうちに物凄い激痛が走り、自力では立ち上がれなくなった。すぐさま救急車を要請し、救急車が来た時は、左足は倍近く腫れあがり、救急隊員の手を借りてどうにか靴を脱ぐことができた次第である。

整形外科医からは2ヶ所骨折しており、今すぐに手術しないと将来自力歩行できないと診断され、即入院となり腫れが引くのを待って手術となった。

手術後は筋力低下防止のリハビリ、松葉づえを使つての歩行訓練と、何気ない日常から一転して身体障害の身となった。

私が朝の散歩から帰って来た時、私の駐車場所に野良猫がまったりと寝そべっ

孫の一言



ていたので瘤に障り、追い払う際に階段を飛び降りたことが原因である。

当時、5歳と3歳の孫と一緒に生活していた時で、3歳の孫から「爺ちゃんどうしたの。」と聞かれ、猫をいじめたから足を怪我したと教えたら、「猫と仲良くしないとダメだよ。」と言われ、「そうだね。」とうなずくしかなかった。

今でも孫からは、「猫と仲良くしてね。」と言われ、家族からは「猫の祟り」と言われる始末で、何の反論も出来ない現在である。

孫の一言は効き目がありますね。

◆鹿児島地区会
七村義見

編集後記

今号の編集会議には、各地区から参加していたいて開催することができました。地区会の活動はまだ再開していませんので、全国統一研修会熊本大会の報告とシステム開発委員会だよりが中心となりました。

会場参加とオンラインによるハイブリッド開催となった熊本大会は、大きなトラブルもなく無事開催され、多くの方に視聴していただきました。

編集会議終了後の懇親会は、皆さんに参加していただき、久しぶりに酒と話が弾みました。次号では、各地区会の活動報告が掲載できることを願うばかりです。



(広報委員長 空閑 秀樹)

エヌエヌ生命は
「中小企業サポーター」
として
社長と会社の
今と未来をお守りします



代理店制度について詳しく説明を聞いてみませんか？

ミロク会計人会 会員の皆さまへ

エヌエヌ生命は会員の先生方を通じ、リスクマネジメント提案を関与先にお届けしている生命保険会社です。多くの先生方がエヌエヌ生命の代理店となり、制度を活用して関与先の様々なお悩みの解決を行っています。

「中小企業『仕立て』の商品」を、関与先のリスクマネジメントにご活用いただくことで代理店手数料収入を事務所経営にお役立てください。

💡 関与先さまの事業継続に生命保険をご活用いただいています

- ✓ 資金繰りの改善
- ✓ 新しい損金区分での法人専用プラン
- ✓ ガンや介護状態における保障の充実
- ✓ 経営環境の変化に備えるプラン
- ✓ 保険金請求手続きの手厚いサポート

上記はご活用例の一部です。関与先の事業継続のプランやサービスをご活用いただいています。

中小企業「仕立て」の商品

📄 <https://www.nnlife.co.jp/strengths/insurance>



エヌエヌ生命が会計事務所の信頼できるパートナーたる理由

📄 https://www.nnlife.co.jp/agencies/tax_accountants_1b



生命保険代理店制度にご興味をお持ちいただけましたら、右記 HP をご覧ください。 <https://www.nnlife.co.jp/agencies>